

競泳競技会において着用又は携行することができる 水泳用品、用具のロゴマーク等の取り扱いについて

選手の皆さんがアリーナ内に持ち込めるものには制限があります。下の様な文書を見たことがないでしょうか？どの大会のプログラムにも掲載されている文書です。これに違反すると、せっかく泳いでベストタイムが出たのに、**失格** となってしまいます。
そうならないためにも、しっかりと読んで、理解してください。

大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください

2023年4月1日
公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員のみならず、宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場（招集所出入口からテーブル・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造物で仕切られた範囲内）内で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついてよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称やマーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

| ロゴマークの種類/用途 | 水着についてよい大きさと数 | ウェアについてよい大きさと数 | その他のものについてよい大きさと数 |
|--------------------|--|--|--|
| 上記の(1)～(4) | 競泳は50cm以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。 | 大きさと数に制限はなし。 | 大きさと数に制限はなし。 |
| メーカーのロゴマーク | メーカーロゴまたはマークは30cm以内で1カ所。(注1) | メーカーロゴは40cm以内で1カ所。マークは20cm以内であれば、いくつ、ついていてもよい。 | メーカーロゴは20cm以内で1カ所。マークは20cm以内であれば、いくつ、ついていてもよい。 |
| 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク | 30cm以内で1カ所。 | 40cm以内で1カ所 | 20cm以内で1カ所 |

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピースの場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

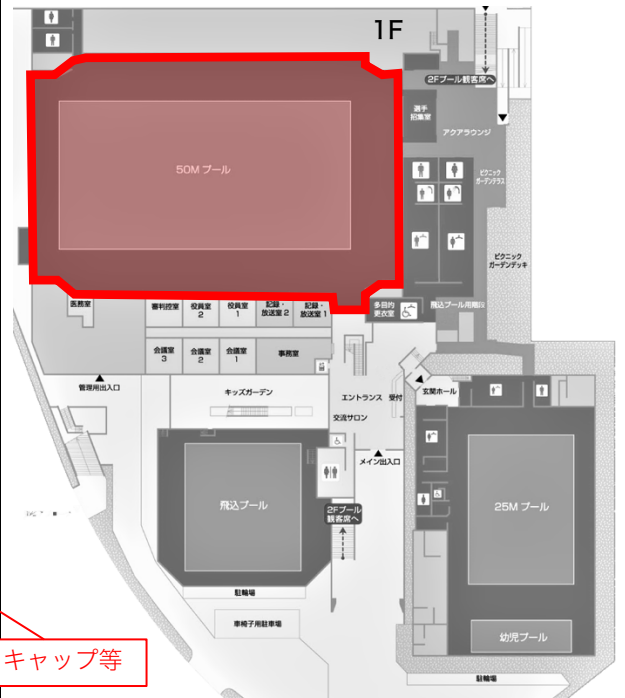
本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

- 1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。
※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。
- 2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。
- 3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。
※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。



アリーナ内（制限エリア）とは？

赤線で囲われたエリアのこと。



キャップ等

制限される時間は？

競技開始通告から競技終了通告までの間

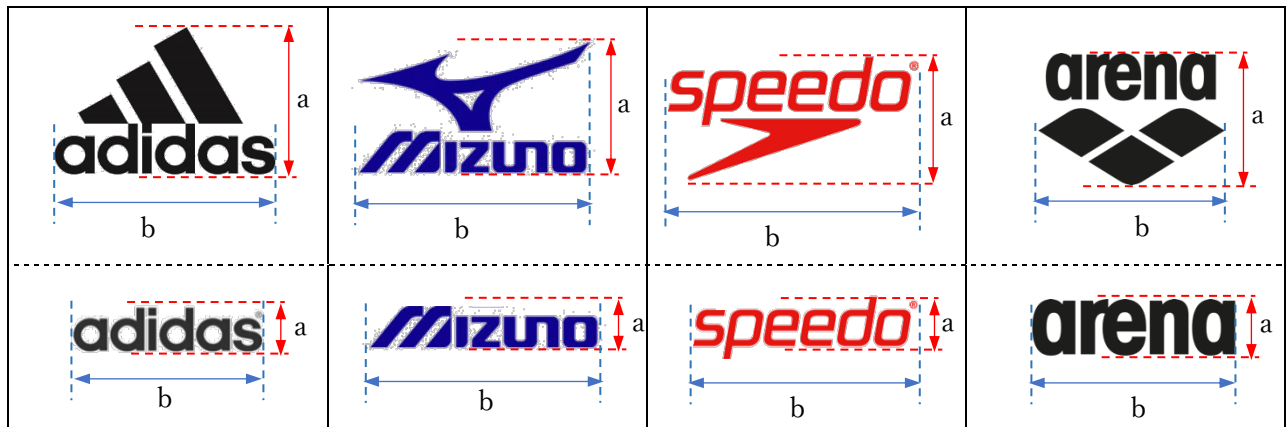
- ※ 予選決勝レースの場合、予選終了後から決勝開始までの間を除く
- ※ 朝のウォーミングアップや予選と決勝の間のインターバルを利用してのレースプールでの練習は制限されない

特にスイミングキャップが上記規定に抵触する事例が見られます。

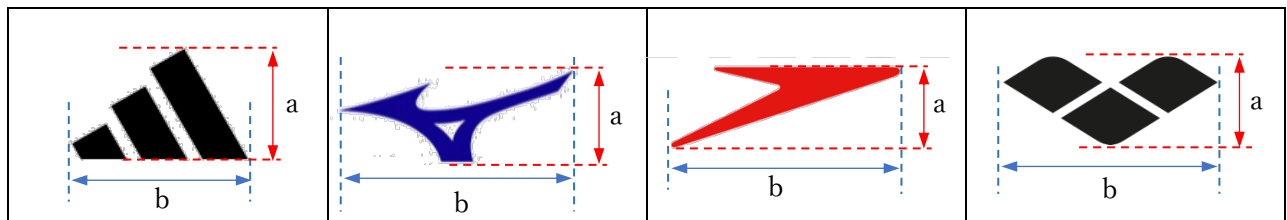
- ▶ レース終了直後、シリコンキャップを脱いだ際に、その下に被っているメッシュキャップが出場しているチーム名と違う。又はメーカーロゴが規定の大きさを超えている。
→ (対策例) シリコンキャップを脱がずに、アリーナ外へ退場する。または一緒に脱ぐ
- ▶ シリコンキャップにプリントされているメーカーロゴが規定の大きさを超えている。
→ (対策例) シリコンキャップを変えるか、裏返す。
- ▶ アリーナ内へ入場した際に、着用していたTシャツやバッグ等の持ち物に「ついていてよいもの」以外がプリントされている、又はメーカーロゴが規定の大きさを超えている。
→ (対策例) 招集所で脱ぐ（置いていく）か、ガムテープ等で見えないように隠す。

～ メーカーロゴとマークの違い ～ ※ 面積は $a \times b$ で求めます。

<メーカーロゴ>



<メーカーマーク>



【Tシャツの例】



メーカーロゴ・マークが規定の大きさを超えている。

メーカーロゴが規定内の大きさであってもつけられる数は1個まで

ついているのはマークなので、1個が 20 cm^2 であれば、いくつつけてもOK



「ついでいてよいもの」ではない。たとえ小さくても認められない。

「ついでいてよいもの」の中にはないが、模様は特に問題なし

マークを隠せば「NEW YORK」は都市名なのでOK

【キャップの例】



メーカーロゴが規定の数を超えている。



メーカーロゴが規定の大きさを超えている。



絵柄が「ついていてよいもの」含まれていない。



ついているのはマークなので、1個が20cm²であれば、いくつつけてもOK



メーカーロゴが規定の大きさを超えている。

【バッグ類の例】



ついているのはマークなので、1個が20cm²であれば、いくつつけてもOK

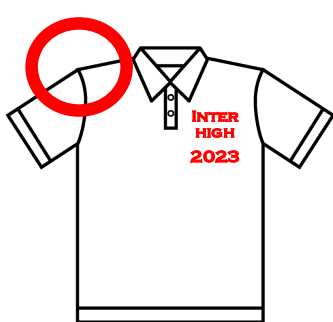


メーカーロゴが規定の大きさを超えている。

【ポロシャツの例】



「ついていてよいもの」なので問題なし



ウエアに「ついていてよいもの」の大きさに制限なし